

ワークショップ 「ビッグデータ研究について～数学はどのように貢献できるか～」の報告

表題のワークショップが以下のように催されました。ワークショップの概容と講演の内容について、ここに紹介します。

主催 文部科学省

共催 (社)日本数学会

場所 九州大学稲盛財団記念館 大ホール

日時 2012年9月19日(水) 9:30--12:10

プログラム

9:30--9:50 太田慎一 文部科学省基礎研究振興課 基礎研究振興分析官
「数学イノベーション戦略(中間報告)」について

10:00--11:00 (発表45分, 質疑応答15分)

講演1: 浅井 潔 (産業技術総合研究所生命情報工学研究センター センター長)
「ビッグデータと向き合うバイオインフォマティクス」

11:10--12:10 (発表45分, 質疑応答15分)

講演2: 竹田正幸 (九州大学大学院システム情報科学研究院 情報学部門 教授)
「ビッグデータ利活用のための新世代情報システム基盤技術」

* * * * *

【講演 1】: 浅井 潔 (産業技術総合研究所生命情報工学研究センター センター長)

【タイトル】: ビッグデータと向き合うバイオインフォマティクス

【講演 2】: 竹田正幸 (九州大学大学院システム情報科学研究院 情報学部門 教授)

【タイトル】: ビッグデータ利活用のための新世代情報システム基盤技術